

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp
 ◇点 鐘 山田 利明会長
 ◇ソング 奉仕の理想



ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities

第1536回例会 令和3年3月11日(木)

【会長の時間】

山田 利明

皆さん、こんにちは。今日は3月11日という事で東日本大震災から10年目になります。皆さん、災害について備えをしているのでしょうか。

あれからこの辺りも風水害がたくさんありましたが、2年前の台風19号が一番大きかったと思います。全国では新幹線が沈んでしまった災害もあり、災害の規模が大きくなっているという気がします。東日本大震災まで大きな災害が記憶にないのか、大きすぎたのか分かりませんが。

あの時に助かった人たちは普段からちょっとした備えをしていた。逃げるのはどこにしようかと逃げた時にはどうするかというような事ですが、津波が何分後に来るとあそこまでからこっちにしようと考えてた人が助かっているらしいです。何も考えていなかった人たちが多く被害に遭ったようです。まだ何千人もの人たちが行方不明です。全体で2万人くらいの方が亡くなっていると思います。

今日は災害の日で考えなくてはいけないのですが、私が住んでいる所も私が東日本大震災からちょっとした頃に区長になりました。各区は防災訓練をなさいます。防災組織をしましょうという事で、震災前から名簿等について意識はしていましたが、やっている所は少なく、皆野町でも30くらい区がありますが、やっているのは1つか2つだったと思います。

各区に防災グッズ、ヘルメット、ランプ、発電機、テント等配られています。8年前くらいに区長になった時に点検から始めました。電池は区で毎年買うと。発電機も充電の出来る良い物でしたが、最初やった時にはモーターが掛かりませんでした。それでお湯を沸かしてラーメンを食べようという計画をしたのですが、お湯を沸かすのに何時間もかかってしまい、ダメな事が分かりました。ラーメンを出して参加を募ろうと考えたのですが、3、40人は来るとは、なかなかたくさんの参加者を集める事が出来ませんでした。

私の次の区長が町と一緒に防災訓練をしよう。茨城、水戸で洪水が起きた後でしたが、本来の防災訓練を行いました。町から60人くらい出て、練習をしました。



その後、台風19号がきました。町では総務課長が参加していたのですが、台風の時には国神のセンターがいっぱいになってしまったのですが、その総務課長がこの間練習した通りにすればいいと言っていたという事だったので、準備が必要なんだなと思いました。我々も練習しておいたので、すぐに逃げた人が多かったのですが、被害は出たのですが、けが人は出ませんでした。

秩父は災害が少ない所だと言われていますが、洪水はあるのかなど。ダムが4つあります。もっと大きい台風でダムが決壊したら、この近辺も全滅になると思います。そんな事はあり得ないと思わず、あるかもしれないと想定してください。その時には逃げる道を考えておいてくださいという事で、普段から準備が必要かなと思います。

今日は東日本大震災から10年目に当たりますので、このような話をしました。

【幹事報告】

高田 富康



1. 地区事務所より
 - ①地区研修協議会のお知らせ
 - ②ディスカッションリーダー養成セミナーの案内
2. 熊谷南ロータリークラブより事務所移転のお知らせ
 次年度3回目の会長をお世話になる事になっています。皆さんのご協力をお願い致します。

次年度の委員会構成を考えましたので、紹介させて頂きます。少ない人数ですので、今年度会長の山田さんには次年度SAAをお願い致します。その他の委員会についてですが、少ない人数ですので、ほとんど今年度と同じようになっています。

また先日1名退会したいという方がいらっしゃいますが、その点についてどうするかも併せてお願い致します。

更に最近なかなか出席して頂けていない会員の方に働きかけをして例会に出席して頂いてクラブを盛り上げていければと考えています。

よろしくお願い致します。



ニコニコボックス

♪ 2月11日は結婚記念日でした。二人とも忘れていました。 高田 富康

合計 2,000 円

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
11	0	6	0	54.5%

いろいろトーク9

東日本大震災から10年を迎えた現在
家庭内での災害への備えについて

